

図書館便り

第7号（令和6年11月8日発行）
 図書担当 磯崎 健太
 学校司書 薬品 孝太郎
 松野 小波

動物

みなさんの身近に動物はいますか。ペットとして飼っている動物もいれば、通学路で見かける動物もいるかもしれません。人間と動物は長い歴史のなかで互いに影響を与え合って生きてきました。今月は「動物にまつわる本」を紹介します。



『リラの花咲くけものみち』 藤岡 陽子/著 光文社 913ふ



公式サイト



獣医師を目指して北海道の大学に進学した聰里には、かつて家族とうまくいかずに愛犬とともに引きこもった経験がありました。その経験から初めはペットなどの「伴侶動物」の獣医師を目指していた聰里でしたが、授業や動物病院でのアルバイトを通して、牧場の牛や馬などの「経済動物」にも興味を持ち始めます。

北海道の美しい風景の中での様々な経験が、聰里を成長させていきます。

◆おすすめの動物本◆

『シートン動物記

図書館版 オオカミ王 ロボ』

アーネスト・T・シートン/文・絵

今泉 吉晴/訳・解説 童心社 480し

『妄想お金ガイド パンダを飼ったらいくらかかる?』

北澤 功/著

日経ナショナルジオグラフィック社 480き

『ヘリオット先生と 動物たちの8つの物語』

ジェイムズ・ヘリオット/著

村上 由見子/訳 集英社 933へ



今月の 紹介本

「令和6年度 都立高等学校入学者選抜 学力検査問題」国語の小説文に採用された物語を紹介します。
 過去問題は、東京都教育委員会WEBでも閲覧できます↓



『この夏の星を見る』



辻村 深月/著 KADOKAWA 913つ

茨城県の高校2年生・亜紗、渋谷区の中学1年生・真宙、長崎県の高校3年生・円華。住む場所も歳も違う3人は、コロナ禍で隔離された時間に「スター・キャッチコンテスト」で、心をつなげていきます。

辻村深月の代表作『かがみの孤城』ポプラ社、『ツナグ』新潮社など

◆11月の本にまつわる記念日◆

11月3日は「まんがの日」

1928年11月3日に、『ブラック・ジャック』『鉄腕アトム』などで知られ、のちに「まんがの神様」とも呼ばれるようになった手塚治虫が誕生しました。手塚治虫の功績をたたえるとともに、日本の漫画が文化として認められることを目的に、2002年に公益社団法人日本漫画家協会と出版社5社が「文化の日」でもあるこの日を「まんがの日」と制定しました。

参考：小学館ダイム公式サイト「@DIME アットダイム」，
 11月3日も「まんがの日」

<https://dime.jp/genre/1530355/#113>
 (参照日 2024.10.15)



こんばん 今月の コーナー

『読書週間～貸出人気図書ランキング～』

『SDGs 11月の11』についての本を集めました。



学校図書館で展示しています。